

FEI グランプリ 2009

時間 5'45'' (参考時間)

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順 競技者名 所属 馬名

馬匹の最低年齢:8才

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ペースの質、停止と移行 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C 左手前蹄跡へ入る HXF 伸長速歩 FAK 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	KB 右へハーフパス	10			2		速歩の整正と移行、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、真直性 肢の交叉	
4.	BH 左へハーフパス HC 収縮速歩	10			2		速歩の整正と移行、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、 肢の交叉	
5.	C 停止ー不動 5歩後退、ただちに収縮速歩で発進	10					停止と移行の質 透過性、流暢さ、 正確な後退(斜対)の歩数	
6.	MV 伸長速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、伸長速歩への移行	
7.	VKD パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッサージュへの移行	
8.	D ピアッフェ12ー15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
9.	D パッサージューピアッフェーパッサージュの 移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
10.	DFP パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、 背と運歩の弾力性	
11.	PH 伸長常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展、常歩への移行	
12.	HCM 収縮常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ	
13.	M パッサージュで発進 収縮常歩ーパッサージュの移行	10					流暢さ、扶助への反応の良さ セルフキャリッジ、バランス、真直性	
14.	MRI パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性	
15.	I ピアッフェ12ー15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	

FEI グランプリ 2009

出番順	競技者名	所属	馬名	順位	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
16.	I	パッサージューピアップフェーパッサージュの移行		10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
17.	ISE	パッサージュ		10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
18.	E EKAF	左収縮駢歩で発進 収縮駢歩		10					明確な実施と流暢な移行 駢歩の質	
19.	FXH HCM	斜線上2歩毎の踏歩変換9回 収縮駢歩		10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
20.	MXK	伸長駢歩		10					駢歩の質、インパルジョン、 歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性	
21.	K KA	収縮駢歩、踏歩変換 収縮駢歩		10					斜線上の踏歩変換の質 明確さ、スムーズな移行の実施	
22.	A DG間 G C	中央線上に入る 中央線の両側に5回のハーフパス (各頂点で踏歩変換) 最初と最後のハーフパスは左駢歩で3歩、 他のハーフパス3回は6歩 踏歩変換 右手前蹄跡に入る		10			2		駢歩の質 安定した屈曲、収縮 バランス、手前変換の流暢さ 左右対称な実施 踏歩変換の質	
23.	MXK KA	斜線上歩毎の踏歩変換15回 収縮駢歩		10			2		正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
24.	A L	中央線上に入る 左ヘピルエット		10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
25.	X	踏歩変換		10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
26.	I C	右ヘピルエット 右手前蹄跡に入る		10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性、屈曲 正しい歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
27.	M MR	収縮速歩へ移行 収縮速歩		10					流暢さ;明確さ、 スムーズな移行の実施	
28.	RK KA	伸長速歩 収縮速歩		10					整正、伸縮性、バランス 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
29.	A DX	中央線上に入る パッサージュ		10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ、背と運歩の弾力性 パッサージュへの移行	

FEI グランプリ 2009

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
30.	X ピアッフェ12-15歩	10					整正、体重を支える、セルフキャリッジ 活発さ、背と運歩の弾力性 明確な斜対での歩数	
31.	X パッサージューピアッフェーパッサージュの移行	10					リズムの維持、収縮、セルフキャリッジ バランス、流暢さ、 真直性、明確な実施	
32.	XG パッサージュ	10					整正、カダンス、収縮、セルフキャリッジ バランス、活発さ 背と運歩の弾力性	
33.	G 停止-不動-敬礼	10					停止と移行の質、真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		410						

総合観察

- ペース(自由自在に変じ、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 1回目 = 2点減
- 2回目 = 4点減
- 3回目 = 失権

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
470					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					最終得点率%:

過失のリストと運動の脱落は、「過失」の付則を参照のこと

審判員署名

FEI 2009年1月1日施行
JEF 2009年4月1日施行